



町会だより

向丘一丁目中町会 2014年1月23日発行 飛脚便 第64号

関東の富士見100景 文京

＝シビックセンター展望ラウンジよりの景観《国土交通省選定》＝



『関東の“富士山の見えるまち”』に選定された文京シビックセンター展望ラウンジからの富士山眺望。

写真：5班 沢井 富雄氏

今年も一層のご協力を

中町会会長 石原 文爾

明けましておめでとございます。皆様には穏やかな良い新年を迎えられた事とお喜び申し上げます。

昨年は、10年間務められた中島幸夫会長の後任となり大変不安でしたが、役員各位のボランティア精神と皆様の優しいお気持ちを実感する1年でありました。今年は、祭礼の年で忙しいと思いますが、役員各位と協力して

皆様が楽しく気軽に参加できます町会活動になりますよう務めますつもりです。どうぞ今年も宜しくお願いいたします。



画：4班 上野 英樹氏

第3回文京散歩

小石川七福神めぐりを楽しんできました。

1月7日(月)、前夜までの極寒にうって変わった行楽日和のなかを、茗荷谷・深光寺(恵比寿)を皮切りに東京ドーム(福祿寿)まで「平成の小石川七福神」めぐり約1万歩余りを参加者12名で元気に歩き通しました。今回もリーダー富田さん(第2班)の博学・雑学ぶりに皆さん感服。帰途、みんなでトンカツ会食。話もはずみ楽しい1日でした。“この七福神めぐり、文京散歩の恒例行事にしては”との声も。写真は、スタンプラリー完歩を祝して後楽園ドームで。

(町会支出450円)



文化部だより

ー 楽しく集い、つながりを広め深めましょう もしもの時のためにも！！

①第4回文京散歩 播磨坂から小石川植物園へ 3～4月の桜の見頃を確かめて行きます。詳細は追って回覧、掲示版ポスターでお知らせします。

②中町会バスハイク 5月の連休明けを選んで、①昨年、台風で中止した文京区保養所「湯之谷やまびこ荘」(1泊)にするか、③三浦半島・城ヶ島一周にするかあるいはその他にするかについて、近々幹事会で話し合っ決めて。詳しくは、決まり次第回覧、掲示版ポスターでお知らせします。

③第8回落語を楽しむ会 2月16日(日) 千住日乃出寄席 於：東京労音千住ホール(足立区日の出町25-2 TEL3879-6191) 時：13時開演 出し物：料亭 彦柳師匠他落語六大学シリーズ 木戸銭：1,000円(お茶・お菓子代)なお、詳しくは第9班吉武 寿美子さんが行かれる予定ですのでTEL3830-0151までご照会ください。



第45回日展 (2013)

11/27(水)5名で日展に行ってきました。10班の山田朝彦さんの作品『明けゆく』です。(町会支出0円)

築地の買い物に参加しました。



5班 沢井富雄

12月16日、平日の月曜日にも関わらず大勢の人出。築地と言えば「鮨」ですが、今回は是非とも立ち食い、行列が出来ることで有名な「井上ラーメン」を食べようと意気込んで出かけましたが、11時前なのにすでに多数の行列が出来ていて時間の関係であきらめました。何時かは再度挑戦しようと思います。そこで今回は築地場内の「魚四季」というお店に。昼前に入りましたがほぼ満席状態で、帰る頃には店の外まで客が待っているほどの人気の店です。築地ならではの美味しい特別ランチ定食に舌鼓、そして新鮮な食材を買い込み築地神社で翌年の幸運と健康を祈願しました。

帰りに近くの聖路加病院にあるプロテスタント教会(チャペル)を見学しました。昭和の初めから戦災や震災にも耐えてきた歴史的にも貴重な建築物で特に内部の窓飾り「ステンドグラス」は一見に値するすばらしいものです。

9名参加 (町会支出0円)

編集後記

引き続きご理解、ご協力のほどを昨年は町会員の皆さんには『町会だより』の発行についてご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。今年も「読むより見る」「地域のことを再発見する」そして「待たれる」町会だよりを目標に、町会員皆さんの意見をよく聞きながら、石原、沢井、水野、鳥居、上野、園木、吉武、太田、柴田、橋本(一)、橋本(洋)の編集委員で努力し発行していきます。積極的なご寄稿、ご意見をお寄せください。本年もよろしく願いいたします。

今号にご寄稿いただいた渥美 和彦氏(3班)は、わが国並びに世界の医用工業界の重鎮として尽力された方で、平成24年、その功績により瑞宝中綬章叙勲の栄に浴された方です。大変ご多忙のなかでの折角のご寄稿でしたが、ご了解を得、紙面の関係で今号は前半のみに留め、次号で完結させていただくことにしました。

『町会だより』編集委員会

「新入学児童」お知らせください

3月21日(祭日)恒例の入学祈願を根津神社で行います。

今年、小学校に入学予定の児童がおられるご家庭は厚生婦人部の係り(下記)までお知らせください。

ささやかですが、記念品も用意しております。

当日は児童の集合写真を撮影する予定です。

柴田 3812-2978

佐藤 3813-7509



行事報告 12/12(木) 文京区赤十字婦人奉仕団50周年記念式典 ドーム ホテル 婦人部長1名参加 (町会支出 3,500円) 1/7(火)文京区町会連合会新年会 正副会長 計3名出席 (町会支出 24,000円)

D級ポンプ消火訓練 毎月第一土曜日 10:30～水道局駐車場 2月1日・3月1日

資源回収 毎月第2水曜日 2月12日・3月12日 回収時間8:00

会員名簿訂正 9班 吉武 潤一郎様 電話番号の変更 03-3830-0151

今後の行事予定 (2月～3月)

2/3(月) 根津神社節分祭
2/8(土) 19:30～ 第6回町会役員会 地域活動C1階
3/1(土) 19:30～ 第3回町会部長会 地域活動C1階
3/21(祭) 新入学児童お祝い 根津神社
3月下旬 班長役員慰労懇談会 総務部・厚生婦人部

平成26年度中町会新年会開く

和やかな時間のなかで会話が弾み親近感深まる
1月18日(土)、フォーレスト本郷を会場に28名の方々が新年を賀し、町会員皆さんの健康長寿と中町会のますますの発展を祈念して有意義なひと時を過ごしました。今回は趣向を変えて立席パーティーにし余興を省いたことが功を奏したのでしょうか、席を変え、お相手を変えながらいぶん会話が弾みました。また、お一人おひとりから自己紹介と併せた近況や町会とのかかわりなどもじっくりと伺うことができ、一段と親近感を深めることができたのではないかと思います。今年は根津神社の例大祭の年に当たりますが、こうした雰囲気の上に立って、たくさんの町会員の理解と協力を得ながらすっきりした活気あふれるお祭りにしていこうではありませんか。(厚生婦人部・総務部)

(町会支出38,340円)



平成25年度歳末夜回り報告 小杉 信四郎 (2班)

恒例の「年末夜回り」の報告をいたします。私にとっては3年連続の夜回りでした。期間は12月25日～30日の6日間。参加して下さる人数が、子どもさんを含め年ごとに増えているように感じます。今回は延べ参加者数104名(内、子ども35名)でした。夜8時にメゾン文京1階会議室に集合、拍子木を叩き声掛けしながら、火の始末、戸締りの様子も見て40分ほど町内を一巡。戸締りについてはなかなか確認するまでには至りませんが、燃えるゴミの放置が残念ながら所どころで見られました。ゴミの放置は、火災の原因になる以外に衛生面でも問題です。火事・盗難防止は、年末に限らず常に念頭におきたいことです。明るく、住みよい町内を維持して行けるよう皆様をお願いいたします。(町会支出26,362円)



H26年度文京区

「交通障害保険」のお勧め

交通事故にあったときに入院、退院に対して保険金が出ます。当町会は23世帯51名の方が昨年度団体加入しました。ご希望の方は下記にご連絡ください。〆切り3月5日。 会計 橋本3815-8697

町会だより〈飛脚便〉発行10周年記念企画

《東京・文京区》向丘の魅力を探る - No.4

第12班 鳥居 厚一



～仏蘭西料理店《南天堂》～

CAFE RESUTANTO NANTEN-DO

1920年(大正9年)9月、本郷区東片町(向丘の旧町名)にフランス料理を食べさせるレストランが開店しました。西洋料理を外食することは当時、かなりハイカラなことで、このレストランが開店する13年前に日本橋の三越呉服点(現日本橋三越デパート)の中に洋食メニューも出す食堂が開業、洋食を外食することが庶民の間にも広がりだしてきました。そして、その後、我が町にもフランス料理店が開店したのです。かなり時代の先端をいていた町だったといえるでしょう。



このレストランは、外国航路の一流シェフを引き抜いて料理長とし、種々のメニューを出していたそうで、その一部を紹介しますとA定食1円50銭、B定食2円、C定食2円50銭、南天ランチ80銭、アラカルトメニューは前菜50銭、スープ35銭、オムレツ40銭、ビーフカツレツ50銭、コールドチキン60銭、サラダ50銭、ハムライス50銭などです。フランス料理というよりはいわゆる洋食といったものですが、当時は文人や著名人たちの溜り場になっていたそうです。

現在の《南天堂》の住所は文京区本駒込で1階、2階とも書店ですが、当時は1階が書店、2階が仏蘭西料理店でした。

これからの健康はこうなる その1 東京大学名誉教授 渥美 和彦 (3班)

現代はカオス(混沌)の時代と言われる。政治、経済、外交、その他社会の色々な分野で、従来の秩序やしきたりに従って決まっていたものが、決まらなくなっている。これらは、相互の価値観の相違が大きいことによる。社会の諸々の動きは、人間同士の考え方により決まってくるが、その個人の人々の価値観が違うからである。

この原因としては、西洋と東洋の価値観の衝突があると考えられる。つまり、キリスト教を中心としてきた西洋の文明と、人の和を中心としてきた東洋の文明とが融合して、新しい文明が生まれようとしてきているからである。これは、1000年に一度位、起こるとされており、われわれは今、その転換期にいるのである。

「健康」についても時代によって変わってくるのではないだろうか。西洋には西洋医学があり、東洋には東洋医学があり、現在、それが融合して、新しい医学が生まれようとしている。

(以下次号に。編集後記参照)

誠之小の改築に向けて 金子 てるよし (5班)

六中に続いて誠之小学校の改築に向けた施策がスタートします。区は新年度から始まる今後3カ年間の計画事業(基本構想実施計画)の素案の中で「老朽校舎の改築」の項目を設け、誠之小学校と明化小学校の「改築基本構想を策定する」としています。

子どもたちの学習と生活の場であり、避難所ともなる学校施設の建設は住民にとって関心の高い事業ではないでしょうか。新校舎を計画するにあたって住民の要望を反映させることは当然ですが、そのためにも計画段階から住民の要望を反映させる手法についても工夫が必要だと思います。基本的な図面が出来上がってからの区民説明会方式では限界があるのではないのでしょうか。設計段階から住民参加で公共施設を計画する事例は各地で試みられており、「私たちがつくった」との思いを持てる施設づくりの中で自治の質も高まるのではないかと思います。

クリスマスケーキ作りの ボランティアに参加して



文京区立第六中学校 2年 北村 尚

今回、六中生8名で駒本小学校を訪れ、ケーキ作りのボランティアをさせていただきました。

私自身このボランティアに参加するのは昨年に続き2回目でしたが、駒本小で参加するのは初めてで少し緊張しました。しかし、校舎に入るとすぐに町内会の方が優しく迎えてくださり、その緊張がすぐにほぐれたように思います。私はケーキの作り方を教えてくださいました。先生のアシスタントという立場だったため、小学生の皆さんと直に接することが出来たのは短時間でしたが、ちょっとした質問や挨拶にも元気に答えてくれる姿がとても印象的で、見習うべきことが多くありました。また、各グループのリーダーとして活動した六中生は、普段接することのない小学生とケーキ作りを通して交流できる貴重な機会だったと言っていました。

私はこれらの体験から、ボランティアは人と交流できる場であり、自分自身の学びの場であると改めて感じました。そして、このような環境をつくってくださった町内会の方々をはじめ、学校の先生方、多くの方々に感謝しなければならなかったと感じました。この場を借りてお礼を述べたいと思います。本当にありがとうございました。また機会があったら、是非参加させていただきたいです。